

令和元年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

高い技術による高収益の実現とゆとりある働きやすい環境づくり

○氏名又は名称 稲吉 克仁・稲吉 幹子

○所在地 愛知県額田郡幸田町

○出品財 経営（養豚）

○受賞理由

・地域の概要

幸田町は、愛知県西三河地域の東南部に位置し、三方を山で囲まれている。農業については、平成28年時点で、農家戸数が942戸、そのうち畜産については肉用牛5戸、養豚1戸（受賞者の経営する（有）マルミファームのみ）である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

稲吉克仁氏は、両親が設立した（有）マルミファームに平成13年に入社後、23年に経営を継承した。幹子氏は、18年に同社に入社後、20年に取締役就任した。30年度時点では、繁殖母豚360頭、種雄豚2頭、子豚・肥育豚4,150頭の中規模一貫養豚経営を行っている。

同時期に生まれた豚を1つの群と見なして収容施設の移動を行い、群の移動後に収容施設の洗浄・消毒を確実に行うオールイン・オールアウトによる事故率の大幅な低減、エコフィードを活用したリキッドフィーディングシステムの確立による飼料費の削減、高繁殖能力種豚の導入による出荷成績の向上を達成し、高収益性を実現している。さらに、地域の生産者グループで飼料の共同購入やブランド豚の共同販売等を行うなど協同の力を最大限活用し、地域と業界で活躍している。

・受賞者の特色

（1）高い技術力による高収益性の実現

オールイン・オールアウトを基本とした高度な衛生管理、リキッドフィーディングシステムによる飼料費の削減、高繁殖能力種豚の導入を行うと同時に、出荷時の体重測定により出荷先と出荷時期の調整を行い、高収益性を実現している。

（2）「3つのゆとり」

「心」、「時間」、「経済」のゆとりを経営理念として掲げ、計画的な休日の確保や国内外への研修派遣による人材育成、賞与・福利厚生の実施などに取り組んでおり、働きやすい環境づくりと人材育成を図っている。

（3）女性の活躍

幹子氏は法人の経理を担当しており、また、地域の女性農業者組織「よつばの会」を設立するとともにその代表として活躍している。さらに、畜産体験教室でソーセージ作りの指導を行うなど幅広く活動している。

・普及性と今後の発展方向

オールイン・オールアウトなど衛生面に配慮した技術により高収益性を実現するとともに、同業者との協同を通じ地域の生産基盤の充実を達成するなど、中規模養豚経営の今後のあり方を示すものとして大いに評価できる。また、経営理念である「3つのゆとり」は、畜産経営の持続性を高めることに大きく寄与すると期待できる。